

# 訪日台湾人の人気観光地ランキング2024を発表！ スポットは「富士山」が連覇、都道府県は「北海道」が2年ぶり1位に！



2025年6月16日

**観光スポットは「富士山」「東京ディズニーリゾート」が不動のTOP2！**

**観光エリアでは定番どころを抑えて数々の地方都市が大きくランクアップ！**

**都道府県は「北海道」が2年ぶりに1位に振り返り咲き！「静岡」「長野」「熊本」に注目が集まる**

台湾・香港人向け日本旅行情報Webメディア「歩歩日本（ブーブーニホン）」を運営し、訪日インバウンド向けサービスを提供する株式会社アジア・インタラクショナル・サポート（愛知県名古屋市、代表取締役:青木達夫）は、「訪日台湾人の人気観光地ランキング2024」を発表します。

本ランキングは日本に関心のある台湾人を対象に、訪日旅行に関する意向調査を実施してまとめたもの。調査は日本旅行に関心を持つ2,356名の台湾人を対象にインターネットアンケートにて実施し、記述式のフリーアンサーを集計して「観光スポット」「観光エリア」「都道府県」の3カテゴリでランキングしています。

今回の結果からは、ランキング上位の結果は定番化してきている一方で、過去に名前の挙がらなかった新たなスポットやエリアの名前が多数挙がったことなどから、人気と関心が大きく変化していることがわかりました。

## 台湾人に人気の観光スポットランキング

**観光スポットは不動の人気「富士山」「東京ディズニーリゾート」がトップ2に！**

**昨年比では「上高地」などが躍進！**

# 台湾人に人気の観光スポットランキング 2024

1位

富士山

昨年

1位

変動

→

6位

銀山温泉

昨年

7位

変動

↑1

2位

東京ディズニー  
リゾート

昨年

2位

変動

→

7位

上高地

昨年

14位

変動

↑7

3位

立山黒部  
アルペンルート

昨年

4位

変動

↑1

8位

河口湖

昨年

11位

変動

↑3

4位

白川郷合掌造り  
集落

昨年

5位

変動

↑1

9位

東京スカイツリー

昨年

6位

変動

↓3

5位

ユニバーサル・  
スタジオ・ジャパン

昨年

3位

変動

↓2

10位

東京タワー

昨年

8位

変動

↓2

| 順位 | 観光スポット         | 昨年 | 変動  |
|----|----------------|----|-----|
| 11 | 姫路城            | 19 | ↑8  |
| 12 | 清水寺            | 10 | ↓2  |
| 13 | 奥入瀬溪流          | 18 | ↑5  |
| 14 | 蔵王の樹氷          | 12 | ↓2  |
| 15 | 出雲大社           | 15 | →   |
| 16 | 浅草寺            | 9  | ↓7  |
| 17 | 天橋立            | 16 | ↓1  |
|    | 伊根の舟屋          | 51 | ↑34 |
| 19 | 厳島神社           | 16 | ↓3  |
| 20 | 由布院温泉          | 22 | ↑2  |
|    | ジブリパーク         | 22 | ↑2  |
| 22 | 大阪城            | 24 | ↑2  |
|    | 熊本城            | 32 | ↑10 |
| 24 | 阿蘇山            | 40 | ↑16 |
| 25 | 小豆島            | 41 | ↑16 |
| 26 | 道後温泉           | 35 | ↑9  |
|    | 鳥取砂丘           | 29 | ↑3  |
|    | 熊野古道           | 58 | ↑32 |
|    | 金閣寺            | 13 | ↓13 |
| 30 | 網走流水観光砕氷船 おーろら | 51 | ↑21 |

| 順位 | 観光スポット                | 昨年  | 変動  |
|----|-----------------------|-----|-----|
| 30 | 屋久島                   | 43  | ↑13 |
| 32 | 草津温泉                  | 25  | ↓7  |
|    | 伊勢神宮                  | 25  | ↓7  |
| 34 | 琵琶湖                   | 58  | ↑24 |
| 35 | 伏見稲荷大社                | 32  | ↓3  |
| 36 | 函館山（夜景）               | 37  | ↑1  |
|    | ワーナー ブラザース スタジオツアール東京 | 93  | ↑57 |
| 38 | 道頓堀                   | 19  | ↓19 |
|    | 洞爺湖                   | 51  | ↑13 |
| 40 | 高千穂峡                  | 43  | ↑3  |
| 41 | 只見線                   | 58  | ↑17 |
|    | 石垣島                   | 69  | ↑28 |
|    | 五稜郭公園                 | 93  | ↑52 |
|    | 宮城蔵王キツネ村              | 49  | ↑8  |
|    | 旭山動物園                 | 43  | ↑2  |
| 46 | 日光東照宮                 | 49  | ↑3  |
|    | 佐渡島                   | 112 | ↑66 |
|    | 貴船神社                  | 51  | ↑5  |
|    | ハウステンボス               | 43  | ↓3  |

人気の観光スポットとして名前が挙がったのは、計570カ所。「富士山」「東京ディズニーリゾート」という不動のTOP2に続いたのは、「立山黒部アルペンルート」「白川郷」となりました。いずれも昨年から1つ順位を上げており、いずれも盤石な人気を誇っていることがうかがえます。

他には、「上高地」「姫路城」「奥入瀬渓流」といったスポットが昨年比でそれぞれ5位以上のランクアップを果たしています。さらに大幅にランクアップしたスポットでいえば、「伊根の舟屋」（34ランク）、「熊野古道」（32ランク）、「五稜郭公園」（52ランク）など。昨年世界遺産に登録された「佐渡島」は66ランクアップと、大きく注目を集めています。いわゆる定番と言われていた観光スポットから、全国各地の個性的な観光スポットに関心が移っているという傾向が見られました。

なお、今回名前が挙がった570のスポットのうち、352カ所は昨年のアンケート調査で名前が挙がらなかったスポットでした。さらに、うち270カ所については、過去2年間に及んで名前が挙がらなかったスポットであることがわかりました。このことから、台湾の方々は常に新たな観光スポットをたくさん発見しており、人気や関心に変化を生んでいると思われます。昨今では特にSNSの普及により、容易に観光スポットや旅行の情報が収集できるようになったことで、このような人気度にも大きな変化をもたらしているのかもしれません。

#### <歩歩日本 編集部 のコメント>

2024年の「台湾人に人気の観光スポットランキング」から見えてくるのは、日本を象徴する定番スポットの不動の存在感と、地方・自然志向への関心の高まりという二つの軸です。富士山や東京ディズニーリゾートは、初訪問者からリピーターまで幅広い層に根強く支持され、日本観光の“象徴的存在”としての地位を改めて示しました。

一方で、立山黒部アルペンルート、白川郷、上高地、河口湖といった四季折々の自然景観や歴史的町並みが楽しめるエリアが大きく順位を伸ばしています。こうした傾向は、「人混みを避け、静かに癒されたい」という旅行者の志向とも合致し、台湾人旅行者の旅の価値観の変化を反映しています。

また、2024年の訪日台湾人は約600万人に達し、そのうち8割以上がリピーターです。市場の成熟とともに旅行の多様化が進み、SNSを活用した情報収集をもとに、従来は訪問が少なかった地方都市や穴場スポットへの関心も急速に高まっています。

## 台湾人に人気の観光エリアランキング

TOP2は昨年と変わらず「大阪」「京都」。上位に大きな変化はないものの、定番の観光エリアを抑え、数々の地方都市が大きくランクアップ！

# 台湾人に人気の観光エリアランキング 2024

|    |     |          |          |     |          |           |          |
|----|-----|----------|----------|-----|----------|-----------|----------|
| 1位 | 大阪  | 昨年<br>1位 | 変動<br>→  | 6位  | 福岡       | 昨年<br>7位  | 変動<br>↑1 |
| 2位 | 京都  | 昨年<br>2位 | 変動<br>→  | 7位  | 舞浜       | 昨年<br>5位  | 変動<br>↓2 |
| 3位 | 富士山 | 昨年<br>4位 | 変動<br>↑1 | 8位  | 青森       | 昨年<br>8位  | 変動<br>→  |
| 4位 | 沖縄  | 昨年<br>3位 | 変動<br>↓1 | 9位  | 立山・大町    | 昨年<br>9位  | 変動<br>→  |
| 5位 | 名古屋 | 昨年<br>6位 | 変動<br>↑1 | 10位 | 白川村（白川郷） | 昨年<br>10位 | 変動<br>→  |

| 順位 | 観光エリア  | 昨年 | 変動  |
|----|--------|----|-----|
| 11 | 熊本     | 16 | ↑5  |
| 12 | 仙台     | 15 | ↑3  |
| 13 | 銀山     | 14 | ↑1  |
| 14 | 軽井沢    | 19 | ↑5  |
| 15 | 鹿児島    | 30 | ↑15 |
| 16 | 広島     | 24 | ↑8  |
| 17 | 上高地    | 39 | ↑22 |
|    | 河口湖    | 22 | ↑5  |
| 19 | 奈良     | 11 | ↓8  |
| 20 | 函館     | 27 | ↑7  |
| 21 | 蔵王     | 21 | →   |
| 22 | 天橋立・伊根 | —  | —   |
|    | 金沢     | 28 | ↑6  |
|    | 押上     | 12 | ↓10 |
| 25 | 神戸     | 20 | ↓5  |
| 26 | 岡山     | 31 | ↑5  |
| 27 | 札幌     | 16 | ↓11 |
| 28 | 鳥取     | 28 | →   |
| 29 | 浅草     | 12 | ↓17 |
|    | 静岡     | 32 | ↑3  |

| 順位 | 観光エリア | 昨年 | 変動  |
|----|-------|----|-----|
| 31 | 芝公園   | 18 | ↓13 |
| 32 | 新潟    | 34 | ↑2  |
|    | 十和田   | 37 | ↑5  |
| 34 | 姫路    | 48 | ↑14 |
| 35 | 横浜    | 25 | ↓10 |
| 36 | 日光    | 35 | ↓1  |
| 37 | 鎌倉    | 40 | ↑3  |
|    | 阿蘇    | 55 | ↑18 |
| 39 | 箱根    | 25 | ↓14 |
|    | 長野    | 42 | ↑3  |
|    | 秋田    | 40 | ↑1  |
| 42 | 長崎    | 53 | ↑11 |
|    | 出雲    | 42 | →   |
| 44 | 宮島    | 32 | ↓12 |
| 45 | 網走    | 66 | ↑21 |
| 46 | 小樽    | 22 | ↓24 |
| 47 | 湯布院   | 50 | ↑3  |
| 48 | 富良野   | 45 | ↓3  |
| 49 | 渋谷    | 46 | ↓3  |
| 50 | 松山    | 49 | ↓1  |

人気の観光エリアとしては、414の地名が挙がりました。「大阪」「京都」をはじめ、トップ10の結果は昨年と大きな変化は見られなかったものの、11位以降では明らかな傾向が。

「奈良」「押上」「神戸」「札幌」「浅草」といった、定番の観光エリアがランクを落とす中で、ランクアップしたのは「鹿児島」「阿蘇」「長崎」などの九州の各地や、「軽井沢」「上高地」などの自然豊かなリゾート地。北海道においても「網走」が大きくランクアップしており、地方都市や自然の観光資源など、新たな観光エリアを求めて関心がさまざまな場所に広がってきていることがわかります。

こちらの調査では、名前が挙がった全414の地名のうち、184が過去2年間挙げられなかった地名でした。観光スポットと同様に、人気や関心が大きく移り変わっている傾向が明確に見て取れます。

#### <歩歩日本 編集部 のコメント>

大阪・京都が揺るぎないトップ2を維持する一方で、鹿児島や上高地、阿蘇、網走といった地方エリアが大幅に順位を上げ、台湾人旅行者の関心が都市部から地方へと広がっていることが明らかになりました。まず、定番スポットの安定感を保ちつつ「未訪問エリアへの好奇心」が強まり、新たな魅力を探索しようとする動きが地方ランクインを後押ししています。次に、人混みを避けて温泉や豊かな自然、地域文化をゆったり楽しむ「スロートラベル志向」が浸透し、地方ならではの癒しとプライベート感が高く評価されています。

## 台湾人に人気の都道府県ランキング

都道府県は「北海道」が1位に返り咲き！「富士山」「上高地」人気にプッシュされる形で「静岡」「長野」がランクアップ！

# 台湾人に人気の都道府県ランキング 2024

|    |     |          |          |     |    |           |          |
|----|-----|----------|----------|-----|----|-----------|----------|
| 1位 | 北海道 | 昨年<br>2位 | 変動<br>↑1 | 6位  | 山梨 | 昨年<br>6位  | 変動<br>→  |
| 2位 | 東京  | 昨年<br>1位 | 変動<br>↓1 | 7位  | 長野 | 昨年<br>8位  | 変動<br>↑1 |
| 3位 | 京都  | 昨年<br>4位 | 変動<br>↑1 | 8位  | 沖縄 | 昨年<br>5位  | 変動<br>↓3 |
| 4位 | 大阪  | 昨年<br>3位 | 変動<br>↓1 | 9位  | 愛知 | 昨年<br>11位 | 変動<br>↑2 |
| 5位 | 静岡  | 昨年<br>6位 | 変動<br>↑1 | 10位 | 青森 | 昨年<br>10位 | 変動<br>→  |

| 順位 | 都道府県 | 昨年 | 変動 |
|----|------|----|----|
| 11 | 福岡   | 13 | ↑2 |
| 12 | 山形   | 12 | →  |
| 13 | 千葉   | 9  | ↓4 |
| 14 | 富山   | 14 | →  |
| 15 | 岐阜   | 16 | ↑1 |
| 16 | 熊本   | 20 | ↑4 |
| 17 | 宮城   | 17 | →  |
| 18 | 兵庫   | 18 | →  |
| 19 | 神奈川  | 15 | ↓4 |
| 20 | 広島   | 21 | ↑1 |
| 20 | 鹿児島  | 23 | ↑2 |
| 22 | 奈良   | 19 | ↓3 |
| 23 | 新潟   | 25 | ↑2 |
| 24 | 岡山   | 22 | ↓2 |
| 25 | 石川   | 25 | →  |
| 26 | 香川   | 31 | ↑5 |
| 27 | 秋田   | 29 | ↑2 |
|    | 愛媛   | 30 | ↑3 |
| 29 | 三重   | 33 | ↑4 |
| 30 | 鳥取   | 24 | ↓6 |

| 順位 | 都道府県 | 昨年 | 変動 |
|----|------|----|----|
| 31 | 栃木   | 27 | ↓4 |
| 32 | 和歌山  | 37 | ↑5 |
| 33 | 長崎   | 34 | ↑1 |
| 34 | 島根   | 31 | ↓3 |
| 35 | 大分   | 36 | ↑1 |
| 36 | 福島   | 28 | ↓8 |
| 37 | 岩手   | 43 | ↑6 |
| 38 | 宮崎   | 38 | →  |
| 38 | 滋賀   | 42 | ↑3 |
| 40 | 埼玉   | 40 | →  |
| 41 | 高知   | 44 | ↑3 |
|    | 群馬   | 39 | ↓2 |
| 43 | 佐賀   | 41 | ↓2 |
| 44 | 茨城   | 35 | ↓9 |
| 45 | 徳島   | 45 | →  |
| 46 | 福井   | 47 | ↑1 |
|    | 山口   | 46 | →  |

都道府県の調査では、昨年1位だった「東京」に代わる形で「北海道」が1位に。その他、富士山や上高地の人気に後押しされる形で「静岡」「長野」が1ランクずつ順位を上げた一方で、沖縄が3ランクダウンしました。

11位以降では、「熊本」が昨年から4ランクアップして16位に。人気の観光エリアランキングでも躍進し、その勢いが都道府県ランキングにも反映されています。一方で、「千葉」「神奈川」「栃木」「群馬」「茨城」といった関東地方のの県が軒並みランクを落とす結果に。最下位は同率で「福井」「山口」となりました。

#### <歩歩日本 編集部 コメント>

静岡は、「富士山を一目見たい」という台湾人旅行者の根強い憧れを体現するエリアとして、引き続き高い人気を維持しています。長野は、ウィンタースポーツや温泉地としての魅力に加え、日本ドラマのロケ地としても注目を集めており、四季を通じた多様な楽しみ方が評価されています。熊本は、くまモンによるブランド力に加え、台湾からの直行便就航によるアクセス改善が追い風となり、訪問意欲を高めていると考えられます。また、関東圏をすでに訪れた経験を持つリピーター層を中心に、「次なる目的地」として地方エリアへと関心が広がる傾向が明確に見られます。

## 【調査概要】

- ・ 調査方法：インターネットアンケート調査
- ・ 調査期間：2024年5月10日～2024年5月31日
- ・ 調査対象者：日本旅行に関心を持つ台湾人
- ・ 有効回答者数：2,356人

## 【人気観光地の調査・集計の方法】

- ・ 質問項目：「今行ってみたい日本の観光地・施設はどこですか？」
- ・ 回答は記述式のフリーアンサーで7つまで答えることが可能（それぞれが1票）
- ・ 回答の集計は、中国語を、類推で日本の地名・スポット名に変えることなくそのまま日本語に翻訳し、翻訳された日本語に関しては、明らかに同一地名もしくは同一施設と考えられるもののみ統一して集計。スポットで所在地がはっきりしている場所は、観光地名・都道府県等の集計にそのまま加算している。

## ■歩歩日本に関して

『歩歩日本』は、2009年に開設した台湾・香港向けの訪日旅行情報サイトです。編集長の台湾人文学賞作家・張維中（チョウイチウ）氏をはじめ、日本を知り尽くした台湾人ライターが質の高い記事コンテンツを執筆。

月間PVは30万、ユニークユーザーは20万を誇る、訪日経験が10回以上の目が肥えた訪日ヘビーリピーターが多く利用するインバウンドWebメディアです。

▶ 歩歩日本 Webサイト <https://www.bubu-jp.com/>

## ■株式会社アジア・インタラクション・サポートに関して

株式会社アジア・インタラクション・サポートは、自治体や企業のインバウンド向けプロモーションを支援する会社です。また、弊社は他にもメディア運営事業・旅行事業・宿泊事業と3つの事業を展開しております。これらの事業を通じて、訪日外国人に対して日本の観光情報やツアーや宿泊を提供し、できる限り高い満足を得ていただくことを目指しています。当社に関するより詳しい情報は、弊社Webサイト(<https://asia-is.com/>)をご覧ください。